

令和 6 年度

家 庭 教 育 講 座
記 録 集

新宿区教育委員会

令和6年度 家庭教育講座一覧

【幼稚園】

No.	校園名	実施日時	テーマ	講 師	開催方法	ページ
1	市 谷 幼 稚 園	令和6年9月18日(水) 9:30~10:30	小さな子連れファミリーの防災対策	新宿区危機管理課職員	対面	1
2	早 稲 田 幼 稚 園	令和6年11月7日(木) 9:30~11:30	親子で学ぼう！コーディネーショントレーニング	JACOT認定講師 事務局次長 毛利 かなで	対面	2
3	鶴 巻 幼 稚 園	令和6年9月13日(金) 9:30~11:00	子どもたちの生と性	電話相談員・"人間と性"教育研究協議会幹事 安達 倭雅子	対面	3
4	牛 込 仲 之 幼 稚 園	令和6年12月2日(月) 9:20~11:20	子どもに伝わる魔法の言葉がけ	親子カウンセラー・言葉がけコーチ 島谷 留美	対面	4
5	余 丁 町 幼 稚 園	令和6年6月17日(月) 9:30~11:30	子どもに伝わる魔法の言葉がけ ～イライラ指示出しママから卒業～	親子カウンセラー・言葉がけコーチ 島谷 留美	対面	5
6	花 園 幼 稚 園	令和6年11月7日(木) 9:30~11:30	運動遊び・体づくり運動を通じて今、親ができること	日本遊育研究所専任講師 澤井 雅志	対面	6
7	花 園 幼 稚 園	令和7年2月28日(金) 9:30~11:30	イライラと上手に付き合い、適切に叱るには	アングーマネジメントコンサルタント 小尻 美奈	対面	7
8	新宿西戸山幼稚園	令和6年9月18日(水) 10:00~11:30	親子で楽しむヨガ体験 ～心と身体のコミュニケーション～	Yoga Ed.公認キッズヨガインストラクター 奥田 志織	対面	8

【小学校】

No.	校園名	実施日時	テーマ	講 師	開催方法	ページ
1	市 谷 小 学 校	令和6年12月14日(土) 10:00~12:00	オリンピック体操選手が教える 本番に強いメンタルの作り方	元体操オリンピック代表選手、体操教室主宰 鶴見 虹子	対面	9
2	鶴 巻 小 学 校	令和6年10月6日(日) 10:00~12:00	運動会に向けてのかっこ塾	明治大学体育会競走部コーチ 田野 淳	対面	10
3	余 丁 町 小 学 校	令和7年2月22日(土) 10:00~12:00	メディアを読み解き、活用するという メディアリテラシーについて	白鷗大学特任教授 下村 健一	対面	11
4	戸 塚 第 一 小 学 校	令和6年11月9日(土) 15:00~16:30	世界に羽ばたく子どもを育てるには何が必要か	株式会社東京蒲田守半代表取締役社長 湯沢 元一	対面	12
5	戸 塚 第 二 小 学 校	令和6年10月26日(土) 10:30~12:30	読み聞かせスキルアップ講座	俳優 矢柴 俊博	対面	13
6	落 合 第 四 小 学 校	令和6年6月1日(土) 10:00~12:00	性被害から子どもを守るために私たち親ができること	新生児科・小児科医 今西 洋介	対面	14
7	淀 橋 第 四 小 学 校	令和7年1月18日(土) 10:30~12:00	給食が教えてくれたこと「松丸先生に聞いてみよう！ 成長期の子ども達のための食育」	管理栄養士 松丸 奨	対面	15
8	西 戸 山 小 学 校	令和6年11月11日(月) 10:00~11:30	大人の茶道体験教室	茶道裏千家教授 石田 久美子	対面	16

【中学校】

No.	校園名	実施日時	テーマ	講 師	開催方法	ページ
1	新 宿 中 学 校	令和6年10月19日(土) 11:45~12:45	中学生の保護者向け性教育	保健師・カウンセラー 宇治 裕美子	対面	17
2	新 宿 養 護 学 校	令和7年2月25日(火) 12:30~14:30	当事者、きょうだい児から障害児の親に伝えたいこと	にじいろもびーる代表 有馬 桃子 患者スピーカー 加藤 拓	対面	18

【区立子ども園】

No.	校園名	実施日時	テーマ	講 師	開催方法	ページ
1	四 谷 子 ど も 園	令和6年10月5日(土) 9:30~11:30	シャケちゃんと遊ぼう ～親子でわくわくあそびうたライブ～	保育シンガソングライター 荒巻シャケ	対面	19
2	あいじつ子ども園	令和6年10月26日(土) 10:00~12:00	0、1、2歳児 親子ふれあい音楽遊び	保育シンガソングライター 荒巻シャケ	対面	20

【私立幼稚園】

No.	校園名	実施日時	テーマ	講 師	開催方法	ページ
1	私 立 戸 山 幼 稚 園	令和6年6月21日(金) 9:00~11:00	自然観察会	プロ・ナチュラリスト 佐々木 洋	対面	21

【その他】

No.	校園名	実施日時	テーマ	講 師	開催方法	ページ
1	教育支援課	令和6年6月15日(土)	家庭教育講座担当者説明会	落語家	対面	22
		14:00~16:00		笑福亭 べ瓶		

実施回数 2 1 回 延べ参加人数 8 3 2 名

(説明会を除く) 【内訳】

幼稚園	8回	310名
小学校	8回	282名
中学校	2回	38名
区立子ども園	2回	142名
私立幼稚園	1回	60名
	21回	832名

家庭教育講座実施結果報告書（記録集原稿）

開催日時	令和6年9月18日（水） 午前9時30分 ～ 10時30分
テーマ	小さな子連れファミリーの防災対策
講師	江口様 馬場様 （肩書き：新宿区危機管理課 地域防災係）
会場	市谷幼稚園 遊戯室
参加人数	22名

① 講演概要（講演の流れ） 200字～400字
①はじめに（テーマ説明、講師紹介、副園長あいさつ） ②講演開始 約50分間（資料を元に保護者より集めた事前質問の内容を含め説明いただきました） ・はじめに～地震のメカニズムや首都直下地震の想定など ・地震が起こる前に～日頃の備えや避難経路の確認など ・地震が起こった時～発災時の行動、避難所の設備や機能など ・新宿区の防災、減災対策～各家庭の地域の防災など ・大雨に備えて～各家庭での浸水対策 ・資料集～新宿区避難場所（広域）地図など ③質疑応答 約5分間

② 感想 100字～150字（アンケートから抜粋でも可）
・最近、自然災害が多発しており防災に対する不安が大きかったので詳しく話が聞けて良かった。 ・実際に道を歩いてみたり、家庭によって必要なモノも違うため再度確認する気持ちが強まりました。 ・災害時に危険な場所が具体的にどういう場所なのかを詳しく教えて欲しかった。

家庭教育講座実施結果報告書（記録集原稿）

開催日時	令和6年11月7日（木） 午前9時30分 ～ 11時30分
テーマ	親子で学ぼう！コーディネーショントレーニング
講師	毛利 かなで 先生 （肩書き：JACOT 認定准講師事務局次長）
会場	早稲田幼稚園 遊戯室
参加人数	75 名

① 講演概要（講演の流れ） <u>200字～400字</u>
1 全学年保護者講演 ・ コーディネーショントレーニングとはどういったものか紹介映像を視聴。 ・ く の字運動、S の字運動、ボールを使った運動を体験。 2人1組になりお互いの動きを確認しながら、リズムにあわせて動いてみる。 2 親子でトレーニングを実施 3歳児親子、4歳児親子、5歳児親子の年齢別に3回に分けて実施 《主なトレーニング内容》 ・ く の字運動、S の字運動、ラディアンなどの体幹運動 ・ フラフープやボールなどを使い、親子でコミュニケーションをとりながら楽しく体の使い方を学ぶ運動

② 感想 <u>100字～150字</u> （アンケートから抜粋でも可）
・ 体幹（身体の軸）を鍛える事が、ボール投げの向上など一見関係ない事に繋がっていると知らなかったので勉強になった。 ・ コーディネーショントレーニングによる様々な効果があることを知り、家でも実践していきたいと思った。 ・ 親子で触れ合えるととても楽しい講座だった。 ・ 年齢によって内容や難易度を変えてあることも、それぞれ取り組みやすくて良かった。 ・ 毛利先生の説明が分かりやすく、（まるでディズニーのキャストのように）楽しませてくれてとても良かった。

家庭教育講座実施結果報告書（記録集原稿）

開催日時	令和6年9月13日（金） 午前9時30分～11時30分
テーマ	子どもたちの生と性
講師	安達 倭雅子 （肩書き：電話相談員・"人間と性"教育研究協議会幹事）
会場	鶴巻幼稚園 遊戯室
参加人数	30名

① 講演概要（講演の流れ） <u>200字～400字</u>
「命を大切にする」とは「体を大切にする」こと → 体について科学的に知ることが大切 ・ 性被害、性加害と性教育の関係 → 包括的性教育の現状 ・ 性教育はいつからか → 聞かれたときがチャンス ・ なぜ性教育は必要か → 正しい性的価値観を身につけるため ・ 子ども(幼児)はなぜ「性」の質問をするのか → 求愛行動(先入観なく性感覚を育てられる期間) ・ どこまで話すのか → 子どもの発達段階に合わせる(拒否しないところまで)教え過ぎは起こらない ・ どんなふうに話すのか(性交・出産・自慰) → 性器などそのままの言葉(幼児言葉は使わない) 性教育の中で性交は小さい、出産の大変さは母親だけでなく母子ともにある、自慰は母親との決別 「プライベートゾーン」の知識 → しきりに触るのは病気やストレスが原因の場合も ・ 日本の性教育 → 遅れている(内性器までしか教科書に載っていない)

② 感想 <u>100字～150字</u> （アンケートから抜粋でも可）
・ ぜひ子どもたち向けにも伝えていただきたい ・ 踏み込んだ性教育を受けていない世代なので、アンタッチャブルな考えを改める必要があると感じた ・ 今後の伝え方の方向性が見えて良かった

家庭教育講座実施結果報告書（記録集原稿）

開催日時	令和6年12月2日（月） 午前 9時30分 ～ 11時30分
テーマ	子どもに伝わる魔法の言葉がけ
講師	島谷 留美 （肩書き：親子カウンセラー・言葉がけコーチ）
会場	新宿区立牛込仲之幼稚園 保育室
参加人数	8名

① 講演概要（講演の流れ） 200字～400字
1.効果的な聞き方 2.レッテル用語 3.あなたメッセージと私メッセージ 4.最強のほめ方・叱り方 5.質疑応答 ・“は・ふ・へ・ほ・そ”を使った聞き方を教わったあと、保護者同士がペアになり、話し手と聞き手に分かれ、話し手にとって嬉しい聞き方、嫌な聞き方を体験する。 ・実際の場面を想定し、なぜ怒るのか、相手に伝えるメッセージの伝え方を各自考え、発表する。 ・質疑応答

② 感想 100字～150字（アンケートから抜粋でも可）
○子どもにとって嬉しい聞き方をしていたと、反省した。 ○マイナスの言葉で子どもを叱っていたので、意識して言葉を変えてみようと思う。 ○私メッセージとあなたメッセージのことが、印象的だった。すぐにはできそうもないが、少しずつチャレンジしていきたい。

家庭教育講座実施結果報告書（記録集原稿）

開催日時	令和6年 6月17日（月） 午前9時30分 ～ 11時30分
テーマ	「子どもに伝わる魔法の言葉がけ」～イライラ指示出しママから卒業！～
講師	島谷 留美 （肩書き：親子カウンセラー・言葉がけコーチ ）
会場	若松地域センター
参加人数	33名

① 講演概要（講演の流れ） 200字～400字
1. 効果的な聞き方を学ぶ【ペアワーク形式】 ○「は・ふ・へ・ほ+そ→はい・ふーん・へー・ほー・そうなんだ」の活用 ○話し手と目線をしっかり合わす ○解決策を提示しない 2. レッテル用語を知る【ペアワーク形式】 ○「また～、いつも～、～ばかり」等の経験則に基づいた決めつけをせず、事実のみに目を向ける ○脅迫・命令を使用しない 3. あなたメッセージとわたしメッセージの違いを知る【個人ワーク・ペアワーク形式】 ○あなたメッセージの主語は「あなた」であり、感情的になりやすくレッテル用語の使用が多くなる ○わたしメッセージの主語は「わたし」であり、[事実]+[理由・影響]+[気持ち]の3セットにより気持ちを上手に伝えることができる 4. ほめ方・叱り方を学ぶ【個人ワーク形式】

② 感想 100字～150字（アンケートから抜粋でも可）
・つい、あなたメッセージばかり話してしまうので、わたしメッセージを習慣づけ出来るようにしたいと思いました。 ・自分が考えていること（何故怒るのか、どんな都合があるのか）を言葉にして子どもに伝えることが必要なのだと感じました。 ・「しっかりと子どもに育てなければ」という気持ちや焦りが講座を受講して少し軽くなりました。 ・良かれと思って解決策を提示していたことが、逆に子どもから考える力を奪っていたことに気づくことができました。 アンケートより一部抜粋

家庭教育講座実施結果報告書（記録集原稿）

開催日時	令和6年11月7日（木） 午前9時30分～11時30分
テーマ	運動遊び・体づくり 運動を通じて今、親ができること
講師	澤井 雅志 （肩書き：日本遊育研究所専任講師）
会場	花園小学校 第1アリーナ
参加人数	29名

① 講演概要（講演の流れ） <u>200字～400字</u>
・年少組 親子体操 25分 ・全クラス保護者に向けての講座 20分 ・年中・年長組 親子体操 40分 親子体操では、音楽に合わせて体操をしたり、ビニール袋や大きいバルーンを使用した運動を行いました。子ども達も保護者の方も終始笑顔でのびのびと体を動かす姿が印象的でした。保護者向けの講座は、技術重視より幼児期はふれあいが大事との教えがあり、上手になるのは後で良い、焦らず育む事の大切さを学びました。事前のアンケートで、室内でドタバタしないで体を動かせる方法が知りたいとの声が多く、特別な道具を使わず、走り回らなくてももしっかり体を動かせるような遊びを教えて頂きました。 ・託児利用 10名

② 感想 <u>100字～150字</u> （アンケートから抜粋でも可）
・親子で思い切り体を動かし久しぶりに体を使い良い運動にもなりました。恥じらいも捨て思いっきり楽しんだお陰で子どもと同じ目線で汗もかくほど全力で動いたので童心に戻ったように楽しかったです。 ・体操後の座学も実際にやることで分かりやすく、今度家でも実践しやすいと思いました。

家庭教育講座実施結果報告書（記録集原稿）

開催日時	令和7年2月28日（金） 午前9時30分～11時10分
テーマ	アンガーマネジメント講座～イライラと上手に付き合い、適切に叱るには～
講師	小尻 美奈 （肩書き：一般社団法人 日本アンガーマネジメント協会認定 アンガーマネジメントコンサルタント）
会場	花園小学校内会議室
参加人数	11名

① 講演概要（講演の流れ） 200字～400字

- 1、ディスカッション…2人一組で「最近叱ったこと」について話し合い。怒りが生まれるメカニズム、自分の怒りパターンを把握。イライラの温度をはかり、思考をコントロール、上手な叱り方を身につける。
- 2、議題本題…アンガーマネジメントとは、怒る必要のあることは上手に怒ることができ、怒る必要のないことは怒らないようになること。怒りとは何か、私たちが怒らせるものは何かを考える。一度クールダウンし、許せるゾーン許せないゾーンかを分析。具体的に一つ、行動に移せるリクエストをする。自分の気持ちを相手に伝えていく。
- 3、質疑応答（5分）

② 感想 100字～150字（アンケートから抜粋でも可）

- ・色んな気づきを貰えた講座で参加して良かった。「怒らないようにする」ではなく「上手に怒られるようになる」という点がとても印象に残りました。
- ・自分の怒りを分析できて良かった。怒りと上手に付き合いながら、楽しく子育てしていきたい。たくさんの学びや発見ができて心がすっきりした。
- ・即実践できそうなアドバイスを頂け、勉強になりました。

家庭教育講座実施結果報告書（記録集原稿）

開催日時	令和6年9月18日（水） 午前10時00分 ～ 11時30分
テーマ	親子で楽しむヨガ体験～心と体のコミュニケーション
講師	奥田 志織 （肩書き：Yoga Ed.公認キッズヨガインストラクター、しあわせYOGA 主宰）
会場	新宿西戸山中学校 体育館
参加人数	102名（園児53名、保護者49名）

① 講演概要（講演の流れ） 200字～400字

はじめに、講師紹介・園長挨拶
 ヨガとは何か？クイズから始まり、基本の座り方を学ぶ。
 子どもに馴染みのある歌を歌いながら身体を動かしほぐす。
 虫のイラスト（チョウ、トンボ、カマキリなど）を見て、その虫が何かを答え、ポーズや特徴、動きを真似る。親子で手を繋ぎバランスを取ったり、背中合わせになり息を合わせて動いたり。
 その後は、体育館を消灯し、親子で添い寝して瞑想体験。
 工作時間も設けられ、親子で工作した糸電話を使い、お互いの好きな色や食べ物、遊びなどを伝え合うコミュニケーションも実施。
 最後は、事前に保護者から募った質問に答えていただく。

② 感想 100字～150字（アンケートから抜粋でも可）

・ 広々とした空間で、子どもと触れ合い、身体を動かす良い機会になった。
 ・ ヨガだけでなく工作時間もあり、作った糸電話の持ち帰りも出来て子どもは喜んでいた。
 また、その工作品を使って自宅でも親子で遊べた。
 ・ 虫ポーズは実際にその虫をイメージすると、ポーズや動きを連想しやすくて、家でも子どもと取り組みやすいと思った。

家庭教育講座実施結果報告書（記録集原稿）

開催日時	令和6年12月14日（土） 午前10時00分～12時00分
テーマ	親子で学ぶ オリンピック体操選手が教える本番に強いメンタルの作り方
講師	鶴見 虹子 先生 （肩書き：元体操オリンピック代表選手、体操教室主宰）
会場	市谷小学校体育館
参加人数	52名

① 講演概要（講演の流れ） 200字～400字

前半は保護者向けの講演会、後半は児童向けのワークショップという二部構成で実施した。

まず、体操競技について種目数など、いくつかのクイズから講演は始まった。

続いて、鶴見先生の体験談も踏まえて、オリンピック選手になるために「頑張る」とは、決められた回数を少しでも上回る努力を継続すること、また、運を味方につけるためには掃除やゲン担ぎが有効であること、目標の立て方として大きな目標と小さな目標を立てて紙に書いて目に見えるところに貼るなどの説明があった。

後半は、ストレッチなどの準備運動から、マットと跳び箱を使った実技指導が行われた。

鶴見先生とアシスタント講師による丁寧かつ具体的なアドバイスにより、児童のパフォーマンスが目に見えて向上する姿が見られた。

最後に小学生選手2名による模範演技も行われた。

② 感想 100字～150字（アンケートから抜粋でも可）

前半と後半の二部構成により、大人も子どもも楽しめるという意味でバランスが良かった。

講師の鶴見先生がオリンピック選手になるための努力などの体験談には驚かされたが、普通の子どもたちでも役立たせることができる具体的なアドバイスを得られて勉強になった。

家庭教育講座実施結果報告書（記録集原稿）

開催日時	令和6年10月6日（日） 午前10時00分 ～ 12時00分
テーマ	運動会に向けてのかけっこ塾
講師	田野 淳先生 （肩書き：明治大学体育会競争部コーチ）
会場	鶴巻小学校 校庭
参加人数	37名

① 講演概要（講演の流れ） <u>200字～400字</u>
開会の挨拶（PTA会長、スクールコーディネーターの方より） 講師と田野先生と浅野先生のご紹介 児童チームと保護者チームに分かれて、実技を交えての講座 児童チームは徒競走でのスタート、腕の振り方、足の運び方など具体的に学ぶ。 保護者チームは運動不足な人でも日々に有効的に取り入れられるウォーキングについて学んだ後、子どもが速く走れるようになるコツやトレーニングの方法を質疑応答形式で学ぶ。 児童も入っての質疑応答と講師の先生方からのコメント アンケート配布

② 感想 <u>100字～150字</u> （アンケートから抜粋でも可）
今回は参加者アンケートで以下の①～③どの項目も参加者全員から良いと回答を得ることができました。 アンケート ①講座テーマ ②講座内容 ③家庭で役立てることができる 男性保護者の割合が過半数以上で、質疑応答でも熱心に質問をしている姿が見られました。 講師の先生方もとても熱心で分かりやすく、楽しく講座を進めていただきました。 子どもも大人も有意義で楽しい時間を過ごすことができました。

家庭教育講座実施結果報告書（記録集原稿）

開催日時	令和7年2月22日（土） 午前10時00分～12時00分
テーマ	フェイク情報氾濫時代～想像力のスイッチを使いこなそう！
講師	下村 健一 先生 （肩書き：令和メディア研究所主宰、インターネットメディア協会(JIMA) リテラシー部会担当、白鷗大学特任教授）
会場	余丁町小学校 体育館
参加人数	54名〔大人22名 子ども16名 文化委員12名 他3名（教育委員会担当者、副校長、PTA会長）〕

① 講演概要（講演の流れ） 200字～400字
1.はじめに（自己紹介） 2.正しい活用法を知らずに、長時間メディアと向き合っている現実について 3.情報をきちんと受け取るための《4つの疑問》「ソウカナ」 ①「まだわからないよね？」＝「ソ」ク断しない ・情報をまず一旦「止める」 ②「意見・印象じゃないかな？」＝「ウ」呑みにしない ・情報をそのまま呑み込まず「分ける」 ③「他の見え方もないかな？」＝「カ」タよらない ・固定観念に頼らず「ひねる」：立場を変え、別の視点を探す ④「隠れているものはないかな？」＝「ナ」カだけ見ない ・一面的な見方だけではなく「広げる」：複数の可能性を検討する →情報を即断せず、常に「かもしれない」を豊かに持つことが重要 4.参加した代表の子ども達の意見や気づきの発表 5.質疑応答

② 感想 100字～150字（アンケートから抜粋でも可）
多種多様なメディア情報とどう向き合うかを考える貴重な機会となりました。 今回の講演は、子ども達も参加し「授業で習ったことにプラスして学べた、日常で活かしていきたい」「スマートフォンを手に入れたら活用したい」といった前向きな感想が寄せられ、大人も子どもも共に、今後の生活に役立つ学びの場となりました。

家庭教育講座実施結果報告書（記録集原稿）

開催日時	令和6年11月9日（土） 午後3時00分 ～ 4時30分
テーマ	世界にはばたく子供に育てるには何が必要か
講師	湯澤 元一 氏 （肩書き：東京蒲田守半代表取締役社長）
会場	戸塚第一小学校 体育館
参加人数	30名

① 講演概要（講演の流れ） 200字～400字

本講演では、湯澤氏による和太鼓と日本文化を通じた挑戦と成長をテーマに展開された。まず、自身の幼少期から中学時代における劣等感やいじめを克服するきっかけとなったロサンゼルスでのホームステイ体験について語り、異文化に触れることで得られた自信と挑戦する大切さを説いてくださった。

その後、和太鼓との出会いと30歳で日本一に輝くまでの道のりを紹介し、和太鼓の音が持つ心を落ち着ける効果や教育的価値について解説した。また、和太鼓を通じた国内外での活動や、日本文化を若い世代に継承する意義を述べる中で、子どもの成長には挑戦を通じて壁を乗り越える経験が必要不可欠であるとお話下さった。

講演は、親が子どもの興味を尊重し、努力する力を育む重要性を再認識させる内容で締めくくられ、和太鼓体験の後、質疑応答を行った。

② 感想 100字～150字（アンケートから抜粋でも可）

湯澤元一氏の講演では、和太鼓の魅力と挑戦することの大切さが語られた。講演後の和太鼓体験を通じ、太鼓の音が身体に響き、心を落ち着ける効果を実感した。

また、仲間と息を合わせて音を奏でることで、協調性や達成感が得られた。太鼓は身体や精神に働きかけ、心身を育む教育的価値が高いと感じた。

子どもたちにもよき日本文化を伝えていきたい。

家庭教育講座実施結果報告書（記録集原稿）

開催日時	令和6年10月26日（土） 午前10時30分 ～ 12時10分
テーマ	読み聞かせスキルアップ講座
講師	矢柴 俊博 （肩書き：俳優）
会場	戸塚第二小学校 会議室
参加人数	約40名

① 講演概要（講演の流れ） <u>200字～400字</u>
10:30 開演 10:30～10:45 校長・PTA会長の挨拶 司会による講座の流れの説明、講師経歴紹介 10:45～11:15 絵本の読み聞かせ「メアリーアリスいまんじ」&解説 11:15～11:20 チャイムまたぎのため軽く質問&回答 11:20～11:35 読み聞かせ「百万回生きたねこ」&解説 11:35～12:00 質問&回答、パントマイムショー 12:00～12:10 花束贈呈、講師挨拶、閉会挨拶

② 感想 <u>100字～150字</u> （アンケートから抜粋でも可）
アンケートの回答（30名）からも、大変良かった25名と良かった5名でした。 また、とても役に立った、今後に生かせそう20名、役に立った、今後に生かせそうと10名の方が感じてくれました。 ここからも分かるように、講習に参加して下さった皆さんは、楽しく学びを感じて下さっていたようです。実際にプロの声で絵本を読んでもらえると、五感で感じるものがありました。 また、解説を聞くことによって、読み方の様々な技術を学ぶことができました。

家庭教育講座実施結果報告書（記録集原稿）

開催日時	令和6年6月1日（土） 午前10時00分 ～ 12時00分
テーマ	性被害から子どもたちを守るために私たち親ができること
講師	今西 洋介 （肩書き：新生児科医・小児科医）
会場	落合第四小学校 コミュニティルーム
参加人数	28名

① 講演概要（講演の流れ） 200字～400字

前半 80 分：講演（パワーポイントで症例など提示しながら下記内容を詳しくお話しいた）

- ・ 2011 年熊本での 3 歳女児殺害事件についての話。短時間でおこる、身近な所で起こりうる、と認識することが大切。
 - ・ 症例を 2 例提示。小児の性被害では、加害者と被害者の距離の近さが問題である。子どもは性被害を受けても声をあげられない。身近な大人が加害者だと特に言えない。
 - ・ 小児性被害の影響。・ 小児性被害が起こりやすい状況。
- < 子どもをまもるために大人にできること >
- ・ 小児性犯罪予防ピラミッドについて。包括的性教育の必要性。
 - ・ 子どもから SOS が出たら、聞く、つながることが大切。・ 性被害の開示相手の年齢による特徴。
 - ・ 子どもの被害に気づくために、家庭や学校で日頃から子どもが話しやすい雰囲気を。
 - ・ 相談窓口について。・ 治療は認知行動療法。

後半 40 分：事前に提出された質問への回答及び当日出た質問への応答

② 感想 100字～150字（アンケートから抜粋でも可）

小児性犯罪が身近に起こり得るものであると認識すること、また被害にあってしまった際も話してもらえるように普段から子どもとの関係を作ることが大切であると感じた。子どもへの性教育をどう進めていくか考えるいい機会になった。

家庭教育講座実施結果報告書（記録集原稿）

開催日時	令和7年1月18日（土）午前10時30分～12時00分
テーマ	給食が教えてくれたこと「松丸先生に聞いてみよう！成長期の子ども達のための食育」
講師	松丸 奨 （肩書き： 管理栄養士 ）
会場	淀橋第四小学校（よどよんルーム）
参加人数	28名

① 講演概要（講演の流れ） 200字～400字
・はじめの言葉 ・PTA代表挨拶 PTA会長 神谷大二郎 ・校長挨拶 久保田恵美校長 ・来賓紹介 ・講師紹介 文京区柳町小学校 栄養士 松丸奨先生 ・講演「成長期の子ども達のための食育」 - 現代における生活スタイルと食育のあり方 - 子ども達のための食育の34個のポイント （好き嫌い改善へのポイント 食事の大切さ 食育と児童心理の関係 食育体験 - 給食の工程とこだわり 簡単時短レシピや調理の工夫 世界の給食と現状について など） - まとめ ・総評 新宿区教育委員会 教育支援課 地域連携家庭教育推進係 佐藤 ・おわりの言葉

② 感想 100字～150字（アンケートから抜粋でも可）
子ども達のことを真剣に考えている情熱的な先生のお話は聞いていてとても参考になり、面白かったです。 食育と児童心理の関係性についても大変参考になりました。 簡単レシピや調理の工夫はとても納得できるもので、家でも実践してみます。 アンケートより「食事と体は繋がっていて、食の大切さを改めて考えさせられました。」 「学ぶことが沢山あり勉強になりました。今日から食事の支度が楽しくなりそうです。」

家庭教育講座実施結果報告書（記録集原稿）

開催日時	令和6年11月11日（月） 午前10時00分～11時30分
テーマ	大人の茶道体験教室
講師	石田久美子 （肩書き：茶道裏千家教授）
会場	西戸山小学校 西戸山ホール
参加人数	13名

① 講演概要（講演の流れ） 200字～400字

講師の先生から茶道やお茶についてのレクチャーを受けた後、4～5人のグループに分かれて、お道具を拝見しました。用意されたのは、異なる塗りの「棗」、さまざまな意匠や織りが美しい「小帛紗」、繊細な細工が施された「茶杓」各4。参加者は実際に手に取り、作の由来や使い方などの説明を受けました。その後、各自が実際にお茶を点てる体験をしました。手早く素早く茶筌を振ることに苦戦している参加者が多かったです。引き続き、茶道師範の先生がお点前を実演。見学しながらスタッフが点てたお茶を味わいました。自分が点てたお茶と、習熟した手によるお茶の違いに参加者のみなさんは驚いたようでした。

最後に、先生のお話の後、お釜や柄杓、水差しなどのお道具に触れ、講演が終了しました。

本校では6年生を対象に茶道体験を実施しています。ご家庭でお子さんたちと茶道や日本文化について話すきっかけになったと思います。

② 感想 100字～150字（アンケートから抜粋でも可）

参加者からは「興味深かった」「楽しかった」という感想をいただきました。茶道未体験の方も多く、日本文化に触れる良い機会となったようです。

ネパール出身の保護者が自身のお父様を伴って参加されたのですが、日本語が全くできない高齢のお父様が興味深そうに茶道を楽しんでいらした姿が印象的でした。

家庭教育講座実施結果報告書（記録集原稿）

開催日時	令和6年10月19日（土） 午前11時45分 ～ 12時45分
テーマ	中学生の保護者向け性教育
講師	宇治 裕美子 （肩書き：保健師・カウンセラー）
会場	新宿中学校 けやきホール
参加人数	27名

① 講演概要（講演の流れ） 200字～400字

定刻開始 宇治先生を紹介後、本日の講座内容である「思春期のココロとカラダの変化」「スマホゲーム依存、SNSトラブル」「わが子を守るために親にできること」について、事前に配った資料とモニターに沿って、時には隣前後の保護者同士でディスカッションをしたり、クイズのように考えたりして進められました。保護者の思春期の頃をディスカッションした際には、しっかりと覚えていない、昔は今ほど子どもに構われていなかった、あまり話さなかった等の回答がありました。思春期の頃の思い出はいつまでも残る物であり、今しかない子どもとの時間をしっかり持ち、話を聞く重要性を感じました。

体の変化では、変化の順番を教えてもらいましたが、親が知らないだけで子どもは成長しているんだと痛感し、「ゲーム依存」ではゲーム以外で打ち込めるものがあると良いと教えてもらいました。

「わが子を守るために親ができること」では、同じ中学生でも男女での対応は異なるので、男子はまず胃袋を満たして、女子は一緒に何かをすることといったコミュニケーションの取り方や対応をユーモアを交えながら教えていただき、質疑応答にも答えていただき、講座は大盛況で終了致しました。

② 感想 100字～150字（アンケートから抜粋でも可）

全体的に知りたかったことを教えてもらった、子どもの話をしっかり聞こうと思いました、勉強になりました、等々好意的な意見が多かったです。

家庭教育講座実施結果報告書（記録集原稿）

開催日時	令和7年2月25日（火） 午後0時30分～2時40分
テーマ	きょうだいの立場・障害当事者の立場から保護者に伝えたいこと
講師	有馬桃子 様 ・ 加藤拓 様 （肩書き：にじいろもびーる代表・福祉教育講師）
会場	新宿養護学校体育館
参加人数	11 名

① 講演概要（講演の流れ） 200字～400字

有馬様から、きょうだいの立場から保護者に伝えたいことをテーマに講演いただきました。障害のある子のきょうだいの本音を聞くにはどうすればよいか、成長に応じてどのように理解を促したらよいかなどについて、事例を交えながらお話いただきました。また、きょうだい支援の団体やイベントなども説明いただきました。

次に、加藤様から障害当事者の立場から、保護者に伝えたいことをテーマに講演いただきました。

障害のある子ども達の未来を拓くためにどんな関わり方ができるのかについて、将来を見据えた準備の効果、他人に助けを求める勇気の大切さ、夢を見つけるために必要なことといった観点から講演をいただきました。ご自身の生い立ちから、ご両親との関わり、ヘルパーさんとの関わりなど、実体験を交えたお話をいただきました。

② 感想 100字～150字（アンケートから抜粋でも可）

保護者の生活に密接に関わっている問題で、悩んだことのない保護者はいないと思います。暮らしや子どもへの接し方についてヒントを与えてもらえた勉強会でした。日々ひとりで悩んでいることの答えへの糸口を見出せたと思います。

障害児、きょうだい児という違った立場ではあるが、当事者の目線からのお話を生の会場で伺えたのはとても貴重な機会でした。

などの感想がありました。

家庭教育講座実施結果報告書（記録集原稿）

開催日時	令和6年10月5日（土） 午前9時30分 ～ 11時30分
テーマ	シャケちゃんと遊ぼう～親子でわくわくあそびうたライブ～
講師	荒巻 シャケ さん （肩書き：保育シンガーソングライター）
会場	四谷子ども園 遊戯室
参加人数	92名（子ども52名・保護者40名）

① 講演概要（講演の流れ） 200字～400字

荒巻シャケさんに親子で楽しめるあそび歌ライブを実施いただきました。手遊びやバンドナを使ったヘリコプター遊び・パネルシアターなど、ただ一方的に聴くだけでなく、シャケさんの音頭に合わせて、子どもたちが自ら感じ取って広げて楽しみました。時間が経つにつれて、子ども達がどんどん前に移動していき、盛り上がりました。特に保護者に好評だったのは「しんぶんニンジャ」の遊びでした。大人数で新聞紙を破いて舞い上げ、子ども園の遊戯室をめいっぱい使って保護者も子どもも体を動かしながら楽しい時間を過ごしました。

あそび歌ライブの合間には保護者に向けて、保育士経験のある荒巻シャケさんならではの子どもとの向き合い方や、身近なものを使った遊びの作り方を散りばめて伝えてくださりました。

② 感想 100字～150字（アンケートから抜粋でも可）

【アンケートより抜粋】

- ・年齢問わず楽しめました。新聞紙を使った遊びは子どもも大喜びで、家にあるものでアイデア次第で遊べるのだと思いました。
- ・子どもって面白いと常に思いながら育児をしていくことで育児が楽しくなりそうだと感じました。
- ・改めて、子どもともっと向き合って、何でも受け入れる心を持とうと思いました。

家庭教育講座実施結果報告書（記録集原稿）

開催日時	令和6年10月26日（土） 午前10時00分 ～ 12時00分
テーマ	0、1、2歳児 親子ふれあい音楽遊び
講師	荒巻 シャケ 氏 （肩書き：保育シンガーソングライター）
会場	あいじつ子ども園 体育館
参加人数	50 名

① 講演概要（講演の流れ） 200字～400字

0、1、2歳児とその保護者、兄弟姉妹を含め、50名程の参加がありました。マジックやギターの弾き語りで会場全体を温めて頂いた後は、パネルシアター「みかん」のお話、「ダンゴムシ」のお話に耳を傾け、「しんぶんニンジャ」では新聞紙を千切って宙へ放って遊び、最後はお片付けまで、子どもたちは嬉々として参加していました。

「ピーピーバックします」に合わせ、色々な乗り物に変身して体育館内を走り回り、「ぐるぐるヘリコプター」に合わせてハンカチのトス&キャッチ、と荒巻さんのパフォーマンスと共に、様々な親子ふれあい音楽遊びを楽しみました。

最後は、「ゆっくり大きくなあれ」をギターの弾き語りで聴かせて頂き、盛況の内に終演となりました。

② 感想 100字～150字（アンケートから抜粋でも可）

体育館で開催したことで、保護者・兄弟姉妹とダイナミックに動きながら楽しむ園児たちの姿を見ることができました。昨年に引き続き参加して下さった保護者の方からは、お子様が、より長い時間楽しんで参加できたと、園児の成長を感じさせるメッセージもありました。

荒巻様を始め、イベント開催にご協力頂いた皆様へ、心より感謝申し上げます。

家庭教育講座実施結果報告書（記録集原稿）

開催日時	令和 6 年 6 月 21 日（金） 午前 9 時 15 分 ～ 11 時 00 分
テーマ	自然観察会
講師	佐々木 洋 （肩書き：プロ・ナチュラリスト）
会場	戸山幼稚園～箱根山周辺
参加人数	保護者を含めて約 60 名

① 講演概要（講演の流れ） 200 字～400 字

年長組 9:15 から 30 分、年中組 9:50 から 40 分間、年少組 10:30 から 30 分。
 雨の中、年長、年中は戸山幼稚園や箱根山の周辺を散策しながら、佐々木先生や子どもたちが見つけたものについて、お話をしていただきました。見つけたのは「ナメクジ、カナブン、ダンゴムシ、カタツムリ、タマムシ(死んでいたけど)」など。
 大変珍しいヒダリマキマイマイが箱根山周辺には生息しており、佐々木先生も大変驚かれました。
 年少は大雨のため室内でお話を聞きました。見つけたいろいろな生きものを見せながら、佐々木先生がとても楽しく話をしてくださいました。
 子どもたちはもちろん、参加した保護者も夢中でお話をきいたり、虫をみたりと、親子でとても楽しめた観察会となりました。

② 感想 100 字～150 字（アンケートから抜粋でも可）

見つけた生きものについて、佐々木先生に楽しく教えてもらえるので、子どもたちはもちろん、保護者も、幼稚園の周りこんなにもたくさんの虫たちがいる楽しい場所だということを改めて実感でき大変貴重な時間が持てたと思いました。こういった機会を設けることにより、子どもたちは虫や自然に更に興味を持ち、豊かな感性が磨かれていくと思いました。

令和6年度
家庭教育講座 記録集

新宿区教育委員会事務局教育支援課
地域連携・家庭教育推進係
電話 03（3232）1078